

# 地震発生!



出して~!!

エレベーターに  
閉じ込められたら  
どうなる?

## 〈停電〉



## 〈パニックになる〉



## 〈食事&トイレ〉

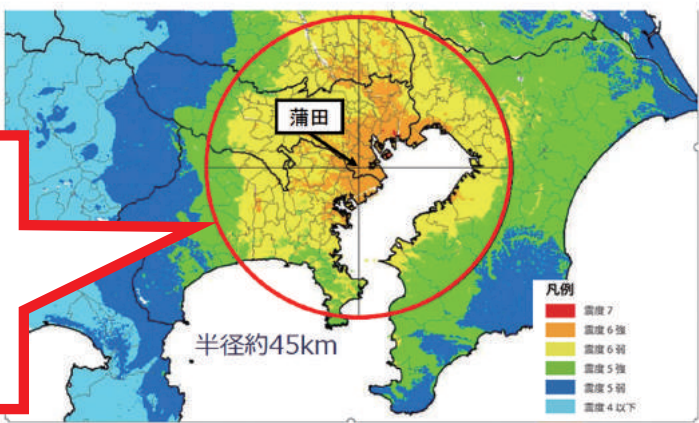


## 《首都圏の閉じ込め予想》

(エレベーター台数)  
 全域 約30万台  
 東京 約17万台

**全域・・・17,000台**  
**東京・・・7,500人**  
 (東京都地域防災計画より)

首都直下地震の閉じ込め範囲予想

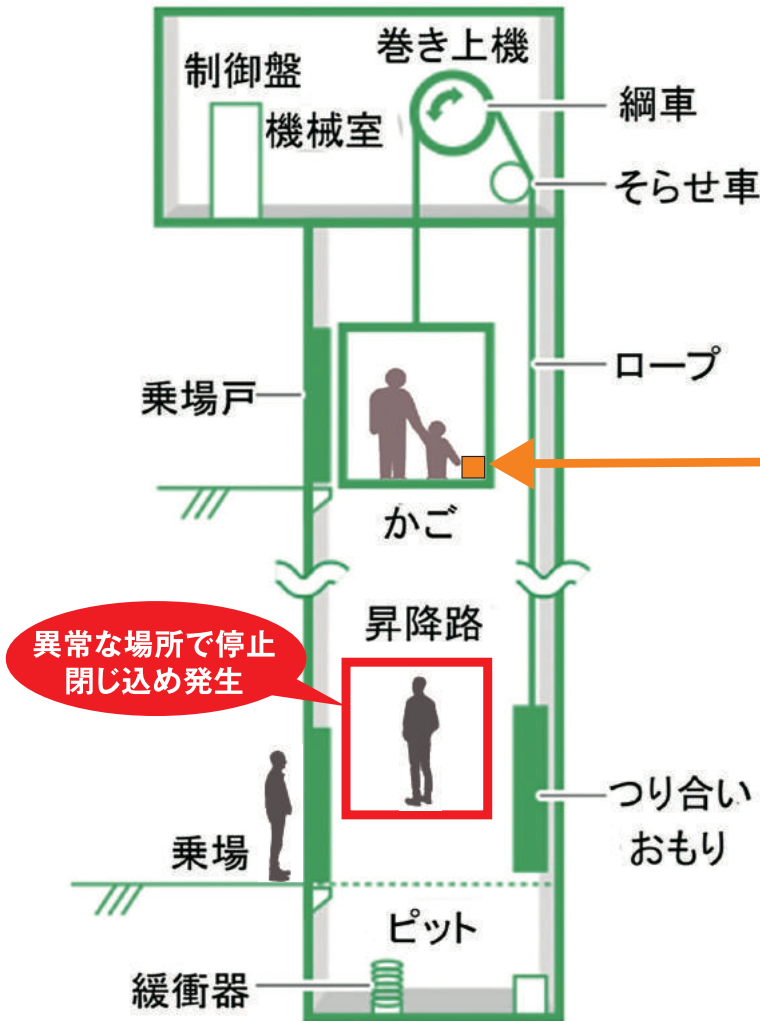


震源地が蒲田から45km圏内で  
 蒲田の震度が5強以上の場合に蒲田で閉じ込めが発生する

# 地震!

## エレベーターに閉じ込められたら **どうする?**

### 《EV 閉じ込めイメージ図》



### 《非常用備品 BOX》



#### 事前の備え

エレベーター内の「非常用備品ボックス」をチェック!!

高層階に居住の場合は備蓄を

- 手回し充電ライト ●非常用飲料水 (50ml×10)
- 非常用食料 ×10
- 袋式トイレ (自立タイプ) ×10
- ポンチョ ●アルミブランケット (静音タイプ) ×2
- ホイッスル ●救急用品
- ケミカルライト×2 ●プラスチック扇子×2



保安員が限られるので

**救出迄 1 日以上  
かかるかも !!**

## 耐えられますか?

**事前にエレベーター管理会社から  
救助訓練を受けておく必要が  
あるのでは?!**





# まち井・マンション生活研究会の紹介

首都直下地震に備え、地震対策を生活者目線で提案するグループです。防災グッズ選びや、家庭内の安全対策に取り組み、「防災は自助から」をスローガンに講座や展示会を開いています。



ガラス飛散防止対策実演



被災時クッキング講座



生活展パネル展示



被災時の明かり



被災時の排泄物処理



家財ごみを減らす

## < 講座内容 >

- ・被災時クッキングの実演
- ・トイレ対策と生ごみ処理
- ・家具の配置と転倒防止対策
- ・ガラス飛散防止対策
- ・明かりの確保と電源の備え
- ・家財ゴミを減らす断捨離の薦め
- ・防災グッズの紹介



新型コロナウイルス時代の防災対策をわかりやすく解説しています

著者：釜石徹（まち井代表）



# 新型コロナ時代の今 自宅避難が最強の対策

籠城じゃ。



災害発生時こそ三密対策が重要

これまでの常識は通用しない！

避難所に行かない！



大勢で集まることは危険



大人数の炊き出しも危険



- 大田区避難所91ヵ所 ○大田区の人口73万人、38万世帯
- 避難所収容人数：1ヵ所約1500名⇒コロナ対策で1/3以下に
- 約12万人旧耐震住宅に居住⇒倒壊、全壊、火災は避難所に！
- 避難所の受け入れ人数：91ヵ所×500人=4.5万人・・・・・・・・

